

女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦

茨城労働局長（中屋敷 勝也）・茨城県理事兼知事公室長（小野 嘉久）

企業トップ合同訪問

平成26年7月24日（木）茨城県と合同で茨城交通株式会社を訪問しました。
訪問企業の概要と要請内容をご紹介します。

茨城交通株式会社

代表者：代表取締役社長 任田 正史

所在地：水戸市袴塚3-5-36

労働者数：723名（男性598名、女性125名）

<ポジティブ・アクションの取組状況>

昔からバス事業は男社会であり大型2種免許取得や早朝・深夜・土日も含めたローテーション勤務など、運転士も営業所事務も厳しい勤務条件です。しかし、サービス業として、接客・問い合わせ対応などの能力も必要とされ、女性の能力を発揮できる機会を増やしたいと考えるようになりました。

平成17年頃から、特に女性運転士の積極的採用に取り組むようになり、現在、女性運転士は9名まで増え、観光バスの乗務にも従事するなど女性の活躍の場が拡大しています。

その結果、女性運転士のソフトで丁寧な運転・接客が評価され、イメージアップが図られています。また、女性運転士を配置する営業所を増やすことができるよう、各営業所の休憩室やトイレなどの設備の整備を進めています。

<女性運転士採用専用窓口の設置>

女性のバス運転士の採用促進のための新たな取組として、平成26年7月から、女性からの問い合わせに対応する「女性運転士採用専用窓口」を設置しました。採用前の問い合わせや勤務地・就業時間の相談、採用後の業務や生活に関わる相談など総合的な相談窓口です。

**女性運転士採用
専用窓口**

**女性バス・タクシー運転士
専用の採用窓口ができました**



＜今後の取組方針＞

バス業界では運転士の不足が深刻な課題となっています。

運転士の確保を促進するため、平成26年7月からバス運転士説明会を定期的で開催し、運転業務に興味のある方に業務内容を理解していただくこととしました。その取組の一環として「女性運転士採用専用窓口」を設置し、気軽に相談できる窓口となるよう周知しています。

また、育児休業の取得を促進するとともに、育児短時間勤務制度について法律を上回る期間(小学校就学前まで)に拡大した結果、制度を利用して継続勤務する男女労働者が増えています。今後も、男女とも仕事と家庭を両立しながら安心して働くことができる環境づくりを進めていきます。

さらに、事務職や営業職など能力ある女性を管理職に登用できるよう育成します。

○要請事項

ポジティブ・アクションの取組推進や「ポジティブ・アクションポータルサイト」を活用した情報開示について、茨城労働局及び茨城県からの要請書を手交しました。



茨城交通株式会社 代表取締役社長 任田 正史 氏（左）

茨城労働局長 中屋敷 勝也 （右）

茨城県理事兼知事公室長兼国体推進監 小野 嘉久 （中央）